（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（佐久地域）

平成２６年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	拡大版まちゼミにより、地域協働でまちづくりを進める事業
事業主体 （連絡先）	中込商店会協同組合 （中込商店会協同組合 事務局 0267-62-5714）
事業区分	（６）エ　商業の振興　　（１）地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	1,047,614 円（うち支援金：　785,000 円）

事 業 内 容

受講料無料の少人数制のゼミ「得するまちのゼミナール（まちゼミ）」を年間４回開催した。１回の講座は 10～16 講座で、商店主や料理の専門家、高校生などが講師をして、ヨガ、ストレッチ、包丁研ぎ、ウインナー作り、燻製作り、パソコン教室、鉢植え、ワイン飲み比べ、ビリヤード入門、スマホ使いこなし入門、手書き地図などの講座を開いた。

（活動写真）

【　　】

事 業 効 果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

参加店・受講者は目標に達しなかったが、アンケートの評価が良いこと、繰り返し参加する受講者がいることから、お店のファンづくりには成果があった。

高校生や元高校教諭、料理家などの外部講師のゼミも４割ほどあり、多彩な講座ができた。

アンケートでまちづくりについての意見もいろいろ出ているので、地域全体でまちづくりを進める素地ができている。また同様にお客様の意見からまちゼミを改善する方向性もわかって来た。

【目標・ねらい】

① 参加店・受講者を増やす。
② お店のファンづくり。
③ 外部講師のまちゼミも開催。
④ まちづくり協働の推進。

※自己評価【　C　】

【理由】
受講者には高評価だったが参加店（講座数）、受講者を増やすことは目標に達しなかった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

年間４回ぐらいの頻度で長期間継続開催する。その都度、評価反省をして改善を繰り返していく。その中からまちゼミや店づくりの方向性、まちづくりの方向性を見出し、地域協働でのまちづくりを進める。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある